

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 三恵会

## 事業報告目次

三恵会本部	1 ~ 2
特別養護老人ホーム きぼうの苑	3 ~ 4
障害者支援施設 あゆみ苑	5 ~ 6
ケアハウス 夢テラス	7 ~ 8
障害者支援施設 三恵ホーム	9 ~ 11
デイサービスセンター えぐも	12 ~ 13
児童福祉施設 十全保育園	14 ~ 16
特別養護老人ホーム ハートランド三恵	17
老人保健施設 リハビリステーション三恵荘	18 ~ 19
老人保健施設 希望の館	20 ~ 21
通所介護事業所 おいでんや	22 ~ 23
多機能型事業所 わくわくクラブ	24 ~ 25
地域子育て支援事業（ひろば型）にこちゃんパーク	26 ~ 28
地域密着型特別養護老人ホーム うみかぜ	29 ~ 30
グループホーム かがやき	31 ~ 32
児童福祉施設 中萩保育園	33 ~ 36
養護老人ホーム 慈光園	37 ~ 38

三 惠 会 本 部

## 令和2年度 事業報告

### 1. 経営方針

令和2年度は、社会福祉法改正後4年目となり、社会福祉法人に求められている「経営組織のガバナンスの強化」、「法人運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」について、経営の主体となる「理事」、「理事会」、「監事」、「評議員会」が有効に機能するよう運営を実施してまいりました。

「ガバナンスの強化」では、理事会を6回、評議員会を1回開催し、事業計画、予算、各種規程、定款変更など重要事項に対し、審議・決議をしてまいりました。

「財務規律の強化」では、会計監査人の導入により、財務情報や社会的な信頼性の向上だけでなく、経営上の問題点も把握でき業務改善に有効に機能しております。今年度は、本業利益は3億2,440万円（増益）、当期最終利益は、各施設の設備の老朽化に対する設備投資をおこなったため、▲1,570万円（減益）となりました。

「人材確保」については、大学、専門学校、高等学校との連携を強固なものとし、コロナ禍の中であっても、ズームを活用したオンラインでの採用活動を実施するなど、工夫をしながら三恵会を選んでいただけた活動をしてまいりました。その結果、令和3年4月に8名の新規学卒者を迎えることができました。また、奨学金貸与事業を開始し、介護福祉士を目指す優秀な学生1名を確保できました。

「適正な給与制度の構築」では、現在、給与体系、手当の仕組み評価制度について一定の議論を終え、令和4年度の運用に向けて、制度設計をしてまいります。

また、今年度は、児童福祉施設中萩保育園の老朽化に伴う、建替え計画について承認を得て、建替え用地を取得いたしました。令和3年5月7日に4者にて設計監理業務のプレゼンテーションを実施いたしました。その結果、新企画設計株式会社（松山市）を選定いたしました。

### 2. 重点課題と具体的な取り組み

#### （1）人材確保の取り組み

- ①安定的な法人運営のためには、職員の確保が必要不可欠であることから、インターンシップ、定期的な学校訪問、就職セミナーへの参加、ブログ等による広報活動、企業説明会・見学会の開催。
  - ➡コロナ禍の中、感染対策を徹底し、学校訪問やオンラインでの企業説明会、インターネット等を行い、新規学卒者8名を採用することができた。

- ②奨学金貸与事業により、介護福祉士・保育士を目指す学生に対し、就学に必要な学費の一部を奨学金として貸与することにより、優秀な人材を長期的に確保する。初年度は介護職員1名を目標とする。
- 奨学金貸与事業（公益事業）を開始し、介護福祉士を目指す優秀な学生1名を採用することができた。

## （2）適正な給与制度の構築

- ①2021年3月を目標に業務内容、役割、責任が明確で、経営目標、経営計画の達成のために効率的な組織を構築し、職員の労働意欲の向上を図るために、職員が発揮した能力、成果に応じて、職員を処遇する仕組みの構築を目指す。
- 継続中であり、令和4年度からの運用を予定している。

## 3、研修計画

### （1）法人内研修（オンライン研修）

#### 階層別研修（日本経営）

##### 若手層向け研修

第1回 令和2年 7月31日 参加者17名

第2回 令和2年 8月28日 参加者16名

第3回 令和2年 9月30日 参加者16名

##### 中堅クラス研修

第1回 令和2年10月29日 参加者22名

第2回 令和2年11月26日 参加者22名

##### 若手層 フォローアップ研修

第1回 令和2年 9月29日 参加者22名

特別養護老人ホーム  
きぼうの苑

# きぼうの苑 令和2年度 事業報告

## 1. 運営の概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年となりました。そのよう中で、職員の感染症に対する意識は非常に高くなりましたが、リスクを重視しすぎて消極的となり、新たな取り組みも思うように進めることができませんでした。その結果は稼働率にも表れており、今後改善していく必要があります。

- (1) 部門会（入所、在宅）を定期的に開催し、各部署間の情報共有、連携強化に努めました。
- (2) 安全・安心な生活のためのリスク管理等について、リスクマネージャーを中心に指針や書類、業務等の見直し、環境整備を行いました。
- (3) 老朽化した空調設備・給湯設備等の改修のため、環境省の ASSET 補助金の交付決定を受け、改修工事を行いました。
- (4) ナースコール設備の老朽化のため、設備の更新工事を実施しました。
- (5) 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、感染防止対策の強化を図るとともに BCP やマニュアルの整備を進めました。

## 2. 重点課題と具体的な取組み

- (1) 「誠実な福祉」の実践
  - ① 三恵会理念、行動指針に基づいた施設運営を目指して努力しました。
  - ② 職員相互が連携し、チームワークのとれた業務の遂行ができるよう努めました。
  - ③ 災害（地震・火災・自然等）への取り組みとして、災害毎の避難訓練を行いました。
- (2) 「確実な知識と技術」の修得
  - ① 感染症対策の勉強会・研修会を定期的に実施し、職員の意識とスキルアップを図りました。
  - ② リスク管理のため、介護事故の検証と対策、書類や業務等の見直し、環境整備を行いました。
  - ③ 介護福祉士等の資格取得挑戦への積極的な支援を行いました。
- (3) 「堅実な経営」への取り組み
  - ① コスト管理について、これまでの慣例を見直し、経費節約の取り組みを強化しました。
  - ② 空調設備・給湯設備等の改修のため、環境省の ASSET 補助金の交付決定を受け、改修工事を行いました。
  - ③ 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、感染防止対策の強化を図るとともに BCP やマニュアルの整備を進めました。

## 3. 研修実施報告

- (1) 施設内（あゆみ苑・夢テラスと合同）

- ①三恵会本部主催  
新人研修 階層別研修 他

- ②自主研修

4月 接遇について	10月 個人情報・プライバシー保護について
5月 メンタルヘルスについて	11月 感染症予防について①
6月 食中毒予防について	12月 リスクマネジメントについて

7月 褥瘡防止について	1月 感染症予防について②
8月 コミュニケーション技法	2月 虐待防止について
9月 認知症ケアについて	3月 身体拘束廃止について

## (2) 施設外

- ① 老人福祉施設協議会関係 →中止またはオンライン研修
- ② 職種別関係 →中止またはオンライン研修
- ③ その他  
新居浜市社会福祉協議会主催の各種研修  
ノーリフティングケア、ユマニチュード研修 →中止またはオンライン研修

## 4. 行事報告（年間）

新型コロナウイルス感染防止のため、大規模な行事は中止となりました。

\*定期行事：各クラブ活動等

## 5. 地域交流、ボランティア、実習生受入報告

- |              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| (1) 地域交流     | } ※新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ中止となりました。 |
| (2) ボランティア活動 |                                   |
| (3) 実習生の受け入れ |                                   |

## 6. 利用状況

【入所】 \*定員 120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	92.1	89.7	90.3	88.6	89.9	91.7	89.8	88.6	88.6	90.3	85.9	92.4	89.8

【短期】 \*定員 9名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	50.7	53.8	39.6	39.6	39.4	44.1	33.7	37.8	37.6	47.3	46.0	43.0	42.7

【通所】 \*定員 30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	70.0	70.0	71.7	69.7	64.4	66.8	68.9	71.9	37.6	67.4	67.3	70.5	69.1

【訪問介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延人数	1000	1039	1043	1057	1008	1014	1019	948	1055	849	903	969	992

障害者支援施設  
あゆみ苑

# あゆみ苑 令和2年度 事業報告

## 1. 運営の概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、施設行事がすべて中止になつたり、面会の制限が行われてご利用者にも施設内で我慢を強いられる1年になった。職員においても、研修などの出張業務や様々な会議が取りやめになつたり、オンライン会議などに置き換わり、また、職員も私的な行動が制限された1年になったが、施設の業務についてはほとんど支障を受けることなく、順調に運営ができた。

- (1) 稼働率目標に対し、関係機関への働きかけなどにより、登録利用者の増加を図るための取り組みを行なった。また、支出を抑えるために全職員で経費の節約に取り組んだ。
- (2) 職員個々の知識や技術力の向上と職員間や他部署との連携及び情報共有の強化のため研修や指導をおして介護事故や苦情のない施設を目指し努力した。
- (3) 正しい言葉遣いとあいさつの刷行、身だしなみ等の確認を行い、接遇力アップのための取り組みを行なった。
- (4) 老朽化した空調設備・給湯設備等の改修のため、環境省の ASSET 補助金の交付決定を受け、改修工事を行なった。
- (5) ナースコール設備の老朽化のため、設備の更新工事を実施した。
- (6) 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、感染防止対策の強化を図るとともに BCP やマニュアルの整備を進めた。

## 2. 具体的な取り組みの実績

### (1) 「誠実な福祉」の実践

- ① 三恵会理念、行動指針に基づいた施設運営を目指して努力した
- ② 職員相互が連携しチームワークのとれた業務の遂行ができるよう努めた
- ③ 災害（地震・火災・自然等）への取組みとして災害毎の避難訓練を行なった

### (2) 「確実な知識と技術」の修得

- ① 高齢化が進むご利用者個々の障害特性の把握と事故防止対策の徹底を図った
- ② 障害者支援についての理解をより深め、統一した支援対応の徹底を図った
- ③ 介護福祉士等の資格取得挑戦への積極的な支援を行なった

### (3) 「堅実な経営」への取組み

- ① 稼働率等の年間目標を掲げ、達成に向けて取り組むとともに経費節約の取組みを強化し、事業収支の改善を図った
- ② 欠員にたいする入所待機者の効率的入所と入院による空室期間短縮に努めた
- ③ 空調設備・給湯設備等の改修のため、環境省の ASSET 補助金の交付決定を受け、改修工事を行なった
- ④ 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、感染防止対策の強化を図るとともに BCP やマニュアルの整備を進めた

## 3. 研修実施報告

### (1) 施設内（きぼうの苑と合同）

- ① 三恵会本部主催  
新人研修 階層別研修 他

## ②自主研修

4月 接遇について	10月 個人情報・プライバシー保護について
5月 メンタルヘルスについて	11月 感染症予防について①
6月 食中毒予防について	12月 リスクマネジメントについて
7月 褥瘡防止について	1月 感染症予防について②
8月 コミュニケーション技法	2月 虐待防止について
9月 認知症ケアについて	3月 身体拘束廃止について

## (2)施設外

中四国身体障害者施設協議会施設長会（研修会）→ 書面による審議に変更  
 愛媛県身体障害者施設協議会施設長会・研修会 → オンラインの会議で実施  
 ノーリフティングケアのオンライン研修  
 \*その他、ほとんど中止になったが、一部オンラインの研修会等に参加した

## 4. 行事報告（年間）

新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの行事は中止した。

## 5. 地域交流、ボランティア、実習生受入報告

(1)地域交流	※新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ中止となった。
(2)ボランティア活動	
(3)実習生の受け入れ	

## 6. 利用者状況 (令和3年3月31日現在)

### (1)年齢 ( )…入所支援

	19以下	20~29	30~39	40~49	50~59	60~65	66以上	合計	平均
男	1 (0)	5 (0)	2 (0)	1 (0)	9 (4)	4 (1)	3 (3)	25 (8)	47.4 (60.5)
女	1 (0)	7 (1)	2 (0)	8 (4)	7 (2)	3 (1)	4 (4)	32 (12)	46.7 (55.4)
合計	2	13	4	9	16	7	7	57	47.0

### (2)障害者程度区分 ( )…入所支援

	1	2	3	4	5	6	合計	平均
男	0 (0)	1 (0)	4 (1)	2 (0)	4 (3)	14 (4)	25 (8)	5.0 (5.2)
女	0 (0)	1 (0)	1 (0)	7 (1)	8 (4)	15 (7)	32 (12)	5.0 (5.5)
合計	0	2	5	9	12	29	57	5.3

ケアハウス  
夢テラス

# 夢テラス 令和2年度 事業報告

## 1. 運営の概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、行事や新たな試みについて中止または延期せざるを得ない状況となりました。また、退所後の新規入所において、ご利用者やご家族が松山市や県外在住により迅速に行うことができなかつたため、目標数値を達成することができませんでした。

そのような中でも、大型改修工事を施行し、環境整備やリスク管理、心身の機能低下等について再度見直す良い機会となり、次年度につながるものとなりました。

- (1) コロナ支援金で購入した健康器具等を活用し、ご利用者の機能低下防止に努めました。
- (2) リスク管理について、居室内の環境整備を行い、ご家族や居宅ケアマネージャー等と相談し対応しました。
- (3) 老朽化した空調設備・給湯設備等の改修のため、環境省の ASSET 補助金の交付決定を受け、改修工事を行いました。
- (4) ナースコール設備の老朽化のため、設備の更新工事を実施しました。
- (5) 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、感染防止対策の強化を図るとともに BCP やマニュアルの整備を進めました。

## 2. 具体的な取り組みの実績

### (1) 「誠実な福祉」 の実践

- ① 三恵会理念、行動指針に基づいた施設運営を目指して努力しました。
- ② 職員相互が連携し、チームワークのとれた業務の遂行ができるよう努めました。
- ③ 災害（地震・火災・自然等）への取り組みとして、災害毎の避難訓練を行いました。
- ④ ご利用者が安心安全で快適に過ごせるよう生活環境の整備や体力低下予防と健康の維持・増進に努めました。

### (2) 「確実な知識と技術」 の修得

- ① ご利用者の状況に合わせて、業務内容の見直しと職員間の情報共有、連携強化を図りました。
- ② 取得した知識や技術を職員間で共有し、よりよいサービスの提供に努めました。
- ③ 関係機関との連携を強化し、情報共有に努めました。

### (3) 「堅実な経営」 への取り組み

- ① 機能低下を防止できるよう個別の支援を行い、長期利用につなげるよう努めました。
- ② 空調設備・給湯設備等の改修のため、環境省の ASSET 補助金の交付決定を受け、改修工事を行いました。
- ③ 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、感染防止対策の強化を図るとともに BCP やマニュアルの整備を進めました。

## 3. 研修実施報告

### (1) 施設内（きぼうの苑、あゆみ苑と合同）

- ①三恵会本部主催
- ②自主研修（毎月実施）
- ③施設外（中止）

#### 4. 行事報告（年間）

新型コロナウイルス感染防止のため、大規模な行事は中止となりました。

\*定期行事：買い物代行 茶話会 誕生会 歌声喫茶クラブ おやつクラブ お茶クラブ  
健康体操（毎週）、気分転換のためのミニドライブ等

#### 5. 地域交流、ボランティア、実習生受入報告

- (1) 地域交流  
(2) ボランティア活動  
(3) 実習生の受け入れ
- } ※新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ中止となりました。

#### 6. 入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	86.7	86.7	83.3	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	86.7	83.3	76.7	85.3

\*定員 30名（内夫婦部屋：2部屋）

障害者支援施設  
三 恵 亦 一 ム

# 令和2年度 事業報告（案）

障害者支援施設三恵ホーム

## 1 経営方針と現況について

利用者の自主性を尊重した支援を目指し、「自分らしく心豊かな満足のいく生活」を送っていただくために、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら施設内において、日中活動や施設内の行事等を実施し、利用者の多様化するニーズに沿ったサービスの提供に努めました。

また、利用者の障害・疾病の重複化、高齢化による体力の低下が進むなか、日常生活において、健康観察や定期受診、食事等の配慮による健康管理などに努めました。

一方、人材不足に様々な課題が顕在化するなか、施設として働きやすい職場環境を整え、人材確保、育成、定着に向け、職員のモチベーションの向上に努め、質の高い介護サービスの提供を目指し、意識改革と技術向上に努めました。

施設等の利用状況を見ますと、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で他事業所の生活介護を利用する入所利用者がいなかったものの、年度後半から入院をする利用者が増加し、定員70名のところ平均64名の利用実績となりました。稼働率については92.4%にとどまりました。

短期入所、地域生活支援事業（日中一時支援）については、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止対策等考慮し、新規受け入れの中止やキャンセル等の影響で53.2%の稼働率にとどまりました。

指定特定相談支援事業においては、サービス利用計画書の作成、モニタリングや他事業所との連絡調整、サービス利用計画の見直し等に努めて、昨年とほぼ同様の対応件数116件となりました。

## 2 重点課題と具体的な取組み

### （1）職員の確保、育成について

看護師、調理員、生活支援員の確保について大きな課題となりました。このことについては、ハローワークだけでなく、民間紹介機関も活用して人材の確保に努めましたがあまり効果は得られませんでした。今後も引き続き、人員の確保に努めて参ります。

また、職員の育成にはWEBサイトから研修課題等を取り込み、職員研修を実施致しました。新人職員の研修においては、プリセプターを付け、1年間を掛けて寄り添い、指導に努めました。

### （2）利用者の思いを尊重した支援について

利用者と関わる時間を多く持ち、利用者個々の考え方や思いに耳を傾けるよう努めました。

利用者の希望・願いを実現するためのサービスなどの情報提供および個別支援計画の作成を行い、利用者が自分らしく過ごすことができるよう支援に努めました。

(3) 利用者が安心して過ごすことのできる施設づくりについて

各部署との連携を強化し、利用者に対し安心と安全を確保するとともに、心豊かな施設生活を送っていただけますように、サービスの提供に努めました。

また、高齢化に伴う認知症や障害の重度化、重病化に考慮しながら、利用者に寄り添った細やかな目配り、気配りに心掛けました。

(4) 介護サービスの質の向上について

新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら施設内研修については、WEB研修を積極的に取り入れました。

定期的にリーダー会、ユニット会を開きサービスの質の向上や問題の早期解決に努めました。

### 3 研修計画

(1) 施設内

ア 年間研修計画（毎月1回）に基づき実施を致しました。

イ 施設内外研究の資料作りなど発表に向けての準備を行いました。

(2) 施設外

ア 全国身障協職員研究大会（中止）

イ 中・四国身障協施設長研修会、事務管理研修会、支援職員研修大会

職員研修大会（中止）

ウ 県内身障協職員研修会（中止）、サービス管理責任者研修会（WEB研修）、職員研修大会（中止）

エ 職種別専門研修会（中止）

オ 三恵会本部主催の職員研修（中止）

### 4 行事予定

4月 お花見、地域交流三恵ふじ祭り（中止）

5月 愛媛県障害者スポーツ大会（中止）

8月 地域交流三恵盆踊り大会（中止）

12月・3月 防災訓練（火災夜間想定12月、地震・土砂災害想定3月）

12月 餅つき大会（実施）、クリスマス会（実施）、忘年会（各階で実施）

1月 新春ゲーム大会（中止）、鏡開き（実施）

2月 節分豆まき（各階で実施）、カラオケ大会（中止）

4月～12月 個別外出（ドライブ外出に変更）

### 5 地域交流、ボランティア、実習生

(1) 地域交流

ア 地域交流ふじ祭り（中止）

イ 地域交流三恵盆踊り大会（中止）

- ウ 東温市身障協助会との交流（中止）
- エ 川内保育園との交流（中止）
- オ 重信中学との交流（授業、働く人で職員が講師として）
- カ 愛媛マンダリンパイレーツとの交流（中止）
- キ ナイスハートふれあいのスポーツ広場交流（中止）
- ク 東温市仲間づくり事業交流（職員が話し合いに出席）

(2) ボランティア活動

ア 職員ボランティア活動

- ・地区の春の井出清掃と秋の道づくり（春・出席、秋・欠席）
- ・国道11号歩道の生垣の清掃 隔月1回（実施）

イ ボランティアの受入れ（すべて中止）

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| ・創価ボランティア   | ・川内町婦人会     | ・さくらコーラス  |
| ・原田民謡教室     | ・HATACHI の会 | ・傾聴ボランティア |
| ・伊予銀行       | ・愛媛銀行       | ・聖カタリナ大学  |
| ・愛媛調理師菓専門学校 | ・松山城南高校 福祉科 | ・愛媛十全医療学院 |

(3) 実習生の受入れ（すべて中止）

- |              |          |       |
|--------------|----------|-------|
| ・河原医療福祉専門学校  | ・聖カタリナ大学 | ・愛媛大学 |
| ・松山城南高校(福祉科) |          |       |

デイサービスセンター  
えぐも

# 令和2年度 事業報告（案）

デイサービスセンター えぐも

## 1 経営方針と現況について

デイサービスセンターえぐもは平成6年9月に旧川内町の委託を受けて以来、地域の高齢者に日常生活の機能維持、健康管理、食事、入浴、レクリエーションの提供に努めて参りました。近年では機能維持訓練、認知症対策なども取り入れ、地域福祉に貢献してきたところです。

通所介護事業においては、年2回開催の運営推進会議において、地域住民の代表者や各委員から、事業所の場所やサービス内容等の知名度が低いのではとの指摘があり、機会あるごとにパンフレット等で関係者への施設紹介を行いましたが、まだまだ地域住民への浸透不足を感じ、デイサービスでの取り組みや企画内容等を機関誌や毎月の行事予定表に組み入れ、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、医療機関、家族等へ定期的に紹介し、地域にアピールすることにより、稼働率の向上と運営の健全化を図りました。また、他事業所にない温泉入浴が楽しめる点を重視し、自宅で入浴困難な方や単に温泉入浴を希望の方に、気軽に入浴を楽しんでいただけるよう、民生委員を始め地区住民代表者の協力のもと、地域にアピールし、新規利用獲得へと努力しました。

居宅介護支援事業所においては、利用者の方々が、より自立した在宅生活を長く送れるよう、総合的な援助相談に対応し、ケアプランの作成等に努めてまいりました。

しかし、人材確保や建物の老朽化、競合する事業所の増加等により事業継続が困難となり、令和3年3月31日付をもって止む無く事業の廃止を行いました。

## 2. 重点課題と具体的な取り組み

### (1) 新規利用者の確保について

機会あるごとにパンフレット等で関係者への施設紹介を行いました。

デイサービスでの取り組みや企画内容等を機関誌や毎月の行事予定表に組み入れ、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、医療機関、家族等へ定期的に紹介しました。

(2) 利用者の在宅生活の質を高めることについて

より専門性の高い機能維持訓練を取り入れ、利用者の機能低下防止に努めました。

また、画一的なサービスの提供ではなく、利用者個々の能力に応じたサービスの提供に努めました。

(3) 職員の資質向上について

一部の職員だけでなく、職員全員が研修等に参加し、専門性や技術力を磨き、利用者の生きがい作りや機能維持に取り組むことができるよう努めました。

### 3. 研修計画

(1) 施設内

- ア 年間研修計画（毎月1回）に基づき実施を致しました。
- イ 施設内外研究の資料作りなど発表に向けての準備を行いました。

(2) 施設外

- ア 県老施協研修（中止）
- イ 中予老施協研修（中止）
- ウ 四国老施協研修（中止）
- エ 三恵会本部主催の職員研修（中止）

### 4. 行事予定

- 4月 お花見（中止）
- 9月 敬老演芸会（中止）
- 12月 クリスマス会（ゲーム、プレゼントのみ）
- 各月 社会見学（中止）
  - オセロ大会（中止）
  - カラオケ（マイク消毒、ソーシャルディスタンスにて実施）
  - 俳句会（WEB俳句会）
  - 音楽療法（中止）

### 5. ボランティア、実習生

(1) ボランティアの受け入れ（すべて中止）

- ・小・中・高生の（体験実習）
- ・カラオケ同好会
- ・尺八演奏会（四季の会）
- ・伊予民謡研究会
- ・楽器演奏（東音チャイム）

兒童福祉施設  
十全保育園

# 令和2年度事業報告

## 1. 経営方針

令和2年度の保育を振り返るうえで、新型コロナウイルス感染症の影響は計りしれないものがありました。保育園は、新型コロナウイルス感染症によって生じた様々な問題・課題に取り組んできた一方で、保育園の社会的意義を再認識しながら、本来の保育のあり方を考え、保育現場で創意工夫しながら、実践を進めてきました。

その中でも、特に、子ども達の発達をどう保障していくか、制限された環境の中で何を大切にしなければならないか、また、発達した姿・様子、逆に発達のつまずきや課題をどのように保護者に伝え支援方法を一致させた保育を行っていくかが、重要になりました。保護者が参加する行事については、保護者がいなくても、子ども達自身が楽しめるもの、経験の場の保障を重視したもの、保護者が参加して、子どもと保護者が共感することが欠かせない行事と区別して、行事内容も見直していました。運動会・生活発表会・卒園式は「密」にならないように配慮し、保護者の理解・協力も得て、スムーズに行うことができ、保護者の方々にもその思いや保育園の方針を伝えることができたのではないかと思います。

まだまだ、コロナウイルス感染症に対しては、現在の状況が長く続くような状況ではありますが、今後も保育園の社会的存在・役割を基に、どんな状況であっても子どもの発達保障を第一に保育を進めていきます。

## 2. 重点課題と具体的な取り組み実績

### (1) 「誠実な福祉」の実践

#### ① 子どもの健康・安全な生活を保障する。

- ・大きなかがは、ほとんどなく、保育を行うことができた。

新型コロナウイルス感染に対して、感染予防の消毒や換気を行い、児童・職員の体調管理を徹底した。消毒の方法も再確認できた。

#### ② 子どもの健やかな発達を目指した保育

・発達支援課の巡回相談では、発達支援課に通い、支援を直接受けている児童もいるが、そこまでに至らない児童の現在の発達を捉え、保護者を巻き込んで相談することができた。発達支援課で発達検査を受ける機会も得、児童の発達のアンバランスさや今後の課題を明確に捉え、保育士自身も支援方法を学ぶことができた。以前は、支援方法を聞いていくことが多かつたが、保育士も受け身ではなく、保育の中で課題や目標をたて、わからない点もありつつも、積極的に支援方法を実践し、保育園なりの意見を述べることができるようになってきた。

・保育園では行事の取り組み等により、園児ひとり一人の発達が促され、今までの保育の成果が確認できたことが、保護者の喜びとなった。職員に

とっても保育に対して自信となり達成感を味わうことができた。

### (2) 「確実な知識と技術」の修得

#### ①職員の資質向上について

- ・キャリアアップ研修では、計画的に研修に参加することができ、普段、研修できない専門的な内容を学ぶことができた。また、研修後のレポートのまとめ方も、決められた中でどのようにまとめていけば良いかということを学ぶ機会が得ることができた。今後も引き続き専門性を高めていきたい。  
eラーニング研修も初めてだったが、スムーズに実施できた。
- ・三恵会の発表では、コロナウイルス感染症に対して、分からぬ部分はありながらも、情報を得て消毒方法を確認し、行事を含め保育そのものの振り返りも行うことができた。

#### ②職員の業務内容について

- ・それぞれの職種において、行事等で責任と当事者意識を重視し、業務を進めた。特に栄養士は、食育活動での保育士と連携が図れ、計画的に進めることができた。
- ・行事においては、連携・協力し合い、取り組むことができた。また、早めの取り組みで計画的に進めた。コロナ禍を意識した取り組みを行い、職員の創意工夫が活かされた。

### (3) 「堅実な経営」の実践

- ・児童数に対して、適切な保育士の配置を検討し、その中で、いかに中身が充実した保育が行えるか意識した。
- ・コロナウイルス感染の中で、感染予防対策の備蓄内容を検討し、備蓄の見直しが図れた。消毒を進める中で、玩具や備品の整理ができた。

## 3. 研修実績

### (1) 施設内

- ・職員会・先任者会・主任会（随時）

### (2) 施設外

- ・保育協議会部会（園長・主任・幼児・乳児・障がい児・給食）
- ・就学前部会
- ・三恵会主催研修 等

## 4. 行事実績(年間)

4月 歯科検診

5月 野菜苗植え・種まき

6月 夕涼み会ごっこ・（園内）

7月 七夕会・プール開き・就学相談

8月 プール大会

- 9月 敬老の日にちなんでの葉書投函・運動会
- 10月 お祭り集会・健康診断  
交通安全教室
- 11月 マイントピア別子遠足（年長児）・七五三・職場訪問（消防署、西原郵便局）  
歯科検診・交通安全教室・巡回相談
- 12月 火遊び防止教室・もちつき・クリスマス会
- 1月 新居浜ネットワーク「もうすぐ一年生」撮影
- 2月 節分・生活発表会（たのしいあつまり）・年長児お茶会・記念撮影
- 3月 交通安全教室・健康診断  
乳児遠足・お別れ遠足（園内）・お別れ会・卒園式  
(毎月実施)身体測定・避難訓練 (随時)なかよしの日《異年齢交流》

## 5. 地域交流、ボランティア、実習生

### 実習生交流

- ・新居浜西高等学校 24名  
(コロナウイルス感染予防のため、交流はなかったが、  
学生が授業でカルタを作成し、子ども達に届けてくれた。)

特別養護老人ホーム  
ハートランド三恵

# 令和2年度 事業報告

ハートランド三恵

## 経営方針について

人員配置を主とする体制整備を行う計画だったが、当初の予定どおり職員採用が出来ず令和3年度事業計画への継続となった。よって、入院者数を抑えるべく日常の看護・介護の資質の向上にはならず、年度末2月3月の入院者急増で当初予算の達成もおぼつかない状況になり厳しい結果となりました。 施設入所稼働率も計画の93%を大きく下回る86・35%に終わり大きな反省事項となりました。一方在宅系事業はデイサービスが計画の85・3%を上回る87・4%で貢献度は大きかった、居宅介護支援事業所は新型コロナウイルス感染拡大により行動制限をせざるを得ない状況もあり訪問件数が毎日1件づつ減少し、現在もさらに縮小傾向にあり厳しい状況です。

施設整備につきましては、計画どおり北館2階居室等全体の空調工事及び一部ベッドの電動化は達成できました。また搬入・工事に関して感染対策を十分行い、また時期を考慮し実施いたしました。

重点課題・具体的取り組みについては施設内部で実施できる「情報の共有と確実な伝達」は達成できたが対外的行動が伴う課題は未達成になりました。 研修計画及び行事予定も感染拡大防止を優先させた為、殆どが未達成となりました。

老人保健施設  
リハビリステーション三恵荘

# 令和2年度 事業報告

リハビリステーション三恵荘

## 1、経営方針

令和2年度は経営状況において入所部門は目標としていた稼働率 95%には及ばず前年度よりも延べ利用者数は 258 名減となりました。ただ「加算型」から「強化型」への変換準備は着実に行う事ができ、結果6ヶ月間ではあります「強化型」を算定することができました。今後は「強化型」を維持しつつ稼働率の安定を目指に取り組んでまいりたいと思います。

一方、通所リハビリテーション事業所は新型コロナウイルス感染症による利用控え等があり稼働率の低下、大幅な収入減となりました。

施設整備に関しては予定していた空調改修工事の他、施設の老朽化に伴う不具合箇所の整備改修も予算範囲内で行うことができました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、例年とは違った1年となりました。ご利用者、職員ともに我慢を強いられる1年であったと思います。そのような中、安定した運営ができたという事は、様々な出来事に対し職員一人ひとりが考え、行動できた結果であると考えます。

## 2、重点課題と具体的な取り組み

### (1)「誠実な福祉」

- ・在宅復帰を念頭に置く施設運営
- ・地域包括ケアへの基盤作り

### (2)「確実な知識と技術」

- ・ユマニチュード受講者の増大
- ・各種研修会等への参加推進

### (3)「堅実な経営」

- ・着実な事業活動収入の増大
- ・堅実な財務体制の確立と将来を見越した設備投資

### 3、研修計画

【施設内】 ·認知症研修 ·接遇検討会 ·感染症対策勉強会  
·身体拘束廃止研修

【施設外】 ·老人保健施設全国大会参加(大分)（感染症にて中止）  
·通所リハビリテーション研究会参加(感染症にて中止)  
·ユマニチュード基礎研修参加(感染症にて中止)

### 4、行事予定

施設・通所リハビリテーションともに四季折々の各種行事や外出行事をほぼ計画通り実施できました。(一部感染症にて未実施)

### 5、地域交流、実習生、ボランティアの受け入れ

地域交流……地元太鼓台の訪問、中萩校区文化祭参加、ピンピンきらり体操  
大生院地域食堂参加(感染症にて一部未実施)

学生ボランティア…新居浜中高生ワークキャンプ(感染症にて中止)

ボランティア……歌レク、大正琴ボランティア等(感染症にて中止)

老人保健施設  
希 望 の 館

# 令和2年事業報告（案）

## 1. 経営方針

今年度事業計画で掲げた「数値目標」に向け取組んだ結果について報告する。

目標：入所関係稼働率 95%（入所 93、短期 2）、在宅復帰率 50%・回転率 5%以上

結果：〃 96.8%（入 94.8、短 2.0）、対前年度比+3.2%、他 2 条件クリア

目標：通所リハ稼働率 80%（介 19+支 5=24 人/日）…在宅部門として再出発

結果：〃 77.5%（介 18.6+支 4.6）、対前年度比+2.3%

目標：居宅月間契約数 144 件（介 108+支 36）以上 …通リハ目標達成への支援

結果：〃 163 件（介 123+支 40）、対前年度比+6 件

### ●入所・短期部門：『超強化型』の維持を前提に高い稼働を目指す …◎

入所部門については、年間を通して『超強化型』を維持すると共に、21 年目にして過去最高の稼働率を達成した。このことについては、施設経営の中心である入所部門において、西村施設長を中心に職員が一丸となって努力した賜物であり、ここに改めて全てのスタッフに対し心から感謝と敬意を表したい。

### ●通所リハ部門：R 2 年度末には稼働率 80%以上を達成したい …○

2 年計画の間に計 5 回、月平均 80%以上の稼働を経験することが出来た。因みに今年度の平均稼働率は 77.5%であったが、昨年度が 75.2%で過去最高だったことを考えると、2 年連続で過去最高を更新したことになる。今後この勢いを更に加速させるためにも、施設としては来年度に向けて定員増（30 名⇒35 名）を予定している。

### ●居宅部門：平均契約数 163 件（ケアマネ 1 人平均 32.6 件） …○

5 月にはケアマネを 1 名増員し念願であった 5 名体制が実現した。在宅部門の要として通所リハ支援だけでなく、在宅復帰支援や地域貢献等についてリハ部門や栄養部門の専門性を取り入れることで、在宅部門だけでなく施設全体の活性化に繋がるような仕組みを作り計画的に実践できる頼もしい存在となった。（コロナ中止を余儀なくされたが…）

以上、今年度は入所部門を中心に記録に残る業績を達成したことで、とても安定した経営が出来た。この一年の実績に対し、スタッフ全員で素直に喜びを共有したい。

## 2. 重点課題と具体的な取り組み（評価：◎出来た ○ほぼ出来た △要努力 ◇コロナ中止）

### (1) 「誠実な福祉」の実践

①「地域貢献」の視点 ⇒館の機能を地域の「介護予防」に役立てる→コロナで中止 …◇

②「丁寧な言葉遣い」 ⇒上位者から率先して取り組む →昨年度は△であった …○

③「在宅復帰(支援)」 ⇒「在宅支援」→年間平均 5%以上の在宅復帰を達成！ …○

### (2) 「確実な知識と技術」の習得

①「感染症発症時の対応力 UP」 ⇒プロ意識・知識・技術を習得する機会に →今一步 …△

②「在宅部門のチーム力」発揮 ⇒報酬関係なく「地域貢献」→コロナで中止余儀なく …◇

③「誤薬事故防止」 ⇒とにかく今ある「マニュアル」を確実に実践 →年間 4 件 …○

### (3) 「堅実な経営」の維持

①「超強化型」の維持 ⇒安心して働く職場環境の維持 →「堅実な経営」を実現 …◎

②「在宅部門」の一層の躍進 ⇒引き続き通所単体の黒字化を目指す →あと一息 …○

③「実地指導」に向け準備 ⇒加算、マニュアル等記録をチェック →文書指摘なし …◎

### 3. 研修計画 …ほぼ全ての研修がコロナ禍の影響で中止・延期となった。

#### (1) 施設内

新入職員研修、感染予防勉強会、認知症に関する勉強会、褥創予防に関する勉強会、事故対策に関する勉強会、虐待・身体拘束のための勉強会、プライバシー保護、接遇研修等、職員健診後、Dr の指導・管理栄養士の指導、メンタルヘルス研修等

#### (2) 施設外 …ほぼ全ての研修がコロナ禍の影響で中止・延期となった。

三恵会法人研修 介護職員による喀痰吸引等研修  
介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者講習  
老人保健施設四国ブロック大会 ターミナルケア研修  
愛媛理学・作業療法士学会 介護支援専門員更新研修  
その他虐待・身体拘束、褥創、感染、事故予防等に関する研修など

### 4. 行事計画（年間）…ほぼ全ての行事がコロナ禍の影響で中止・延期となった。

- 4月 お花見
- 5月 アニマルセラピー やかた祭
- 6月 風船バレー大会
- 7月 七夕会、ビアホール
- 8月 夏祭り喫茶
- 9月 敬老会
- 10月 運動会、地方祭
- 11月 文化祭（東温市）
- 12月 クリスマス・忘年会、お餅つき
- 1月 新年会
- 2月 節分
- 3月 春の演奏会、菜の花ドライブ

### 5. ボランティア・実習生 …ほぼ全ての受入れがコロナ禍の影響で中止・延期となった。

#### (1) ボランティア受入状況

趣味クラブ（月2回）、民謡教室（月1回）、書道教室（月1回）、華道教室（月1回）オカリナ演奏（月1回）、ショッピング（月2回）、ともしび会（月1回）、サマーボランティア（年1回）、ウインターボランティア（年1回）傾聴ボランティア（月1回）など

#### (2) 実習生の受入状況 …ほぼ全ての実習がコロナ禍の影響で中止・延期となった。

学校等：十全医療学院 愛媛医療福祉専門学校 愛媛大学医学部

河原医療大学校看護学科

通所介護事業所  
おいでんや

# 令和2年度 事業報告

通所介護事業所 おいでんや

## 1. 経営方針

「想いを一つに」を念頭に置き、日々の業務に取り組みました。

利用者様の自立支援・重度化防止に留意し過不足のないサービス提供に心掛け、「できる事は自分で！」を目標に、食事の下膳の際は湯呑みだけでも自分で片付けていただくように、入浴の際は手の届く範囲は自分で手を動かして洗っていただくように声かけをしてきました。

一方で、利用者中心のサービスの提供に努めましたが、満足していただけたかは不安が残ります。

これまで主に主任・生活相談員が行っていた他事業所との連携、利用者への電話連絡等は、職員一人ひとりに“自分がしなければ”の意識が芽生えてきたように思え、職員の成長を感じることができました。

目標に掲げていた認知症の研修については、新型コロナウイルスの影響もあり、思うように研修に参加できない1年になりました。次年度以降も継続目標とします。

## 2. 重点課題

### 1) 稼働率の向上・数値目標

①年間を通して1日平均20.0名、稼働率80.1%でした。

②月2回の訪問のうち1回は主任ではなく、2人居る生活相談員が交互に事業所を訪問し、顔と名前の売り込み営業をしました。

### 2) 職員の資質向上

接遇態度に関しては、長期に渡り利用してくださっている利用者とは気心が知れているだけに、親しくなりすぎた部分もありましたが“親しき中にも礼儀あり”を忘れずに、声かけの仕方・話し言葉等引き続き気を付けていきたいです。

### 3) 独創性を加味したサービスの提供

新型コロナウイルスの影響で思うように外出・外食行事が実施できず、利用者の皆さんにはご迷惑を掛けましたが、10月以降は外食に代わるお楽しみ弁当の日を設けるなどし、新しい試みにチャレンジしました。

### 4) 交流・ボランティア

新型コロナウイルスの影響で外部との往来が遮断され、交流・ボランティアについては、全面的に実施できませんでした。

### 5) 記録の充実

できる限りOA化に取り組み、多職種の意見を取り込んだ記録を残すことができました。

### 3. 研修報告

#### 1) 施設内研修

全体会は開催回数が半減しましたが90%以上の出席率で、学びたい事、伝えたい事を学べ、伝え聞くことができ、内容の濃いものとなりました。

#### 2) 施設外研修

自粛ムードで実施できませんでした。

### 4. 年間報告

ほぼ全滅でした。実施できなかった行事については、\_\_\_\_\_で記しています。

4月	5月	6月	7月
・お花見 (ドライブ 含) ・個別外出	・個別外出	・菖蒲見物	・夏まつり(合) ・七夕まつり ・社会見学
8月	9月	10月	11月
・社会見学	・個別外出 ・避難訓練	・いきいきフェスティバル ・太鼓台見物 ・個別外出	・校区文化祭 ・紅葉見物 ・個別外出
12月	1月	2月	3月
・もちつき(合) ・クリスマス会 ・忘年会	・初詣 ・書初め	・節分 ・梅見物	・ひな祭り ・避難訓練 ・カラオケ大会(合)

※ 毎月開催行事 ・・・ 外食 ・ 買い物

音楽療法(ピアノ・三味線演奏)・パン屋さんより訪問販売

十全総合病院より売店来館(2回/月) ・おやつ作り

新型コロナウイルスの影響で楽しみにされていた行事が減ったため、職員が知恵を出し合い、施設の中で楽しんでいただけるようなレクを考え(手作りのレク用品も多数)実施してきました。また、書道・絵手紙をそれぞれ月2回実施し、利用者様の意欲も向上し、腕前もかなり上達してきました。

多機能型事業所  
わくわくクラブ

# 令和2年度 事業報告

## 多機能型事業所わくわくクラブ

### 1. 経営方針

障害の重度化や超高齢化によるサービス利用のニーズが多様化する中、利用者が地域生活を継続していくよう、サービスの充実を図って参りました。また、新型コロナウィルス等の感染症対策を強化し、利用者及び家族の皆様が、安心して通う事の出来る環境を整備して参りました。

生活介護事業は障害の重度化及び超高齢化への対応が喫緊の課題と考え、重度化に伴う入浴支援の改善や超高齢化に向けて職員の介護技術・資質向上を大きな目標とし、職員一同『想いを一つ』を合言葉に、利用者及び家族の地域生活継続への想いに細やかにより添える事業所を目指しました。

放課後等デイサービス事業所は市内でも今なお増加している中で、制度設立の趣旨に軸足を置き、障がい児の砦となれるような持続安定的な事業運営に努めて参りました。

### 2. 重点課題と具体的な取り組み

#### (1) 事業所拡大を目指して

##### 生活介護事業

- ・特別支援学校主催の施設説明会に参加する等、特別支援学校及び家族との情報交換・連携を図り、実習生の受け入れや入学者・卒業者の動向の把握に努め、受け入れについて職員の資質の向上を含め体制を整えました。また、相談支援事業所からの紹介者が利用に結び付くように努めました。

##### 放課後等デイサービス

- ・利用者が生き生きと、安全に過ごす事の出来る環境整備に取り組みました。
- ・地域の幼稚園・保育園との情報共有に努め、児童の発達段階に応じた療育・仲間づくりなど、発達支援を必要とする障がい児のニーズに的確に対応するため職員一人一人のスキルアップを図り、選んでいただける支援体制を構築に取り組みました。

#### (2) 支援内容の充実

##### ① 重度化・高齢化への対応

生活介護事業において、障害の重度化・高齢化に伴い利用者のニーズの幅が広がる中、ニーズに沿った支援内容の充実を目指すと共に、一般浴と機械浴（特浴）との棲み分けを行い、家族による入浴介助の負担軽減に努めました。生活介護事業・放課後等デイサービスともに重度化が進んでおり、職員の資質向上を図ると共に、ご利用者及びご家族が安心して地域生活を送ることが出来るための支援を関係機関と連携を図りながら進めました。

##### ② 多様な活動の場の提供

業者請負作業を提供する中で、工賃アップを大きな課題と捉え印刷業務の見直

しを行い工賃アップに努めました。また自主生産品の充実を通して、一人一人が自らの能力を最大限に發揮し、自己実現できるよう支援して参りました。放課後等デイサービスにおいても、卒業後の自立に向けた支援の充実を図り、学びと育ちを支援する対策を進めて参りました。

### ③ 社会参加の促進

令和2年度は新型コロナウィルスの影響を大きく受け、愛媛県障がい者スポーツ大会をはじめ、各行事が中止となりました。その様な中でも出来る事を前向きに捉え作品作りの継続や、地域の美化活動を実施する事で、地域交流に努めて参りました。

### (3) ネットワークづくり

家族交流会については中止となりましたが、送迎時等のコミュニケーションを密に図り、利用者・家族・職員間での情報交換や、相互理解をより深められるよう努めました。その他、関係機関との更なる連携を図り、利用者のより豊かな社会参加を実現できるよう支援して参りました。

## 3. 行事報告

4月	5月	6月	7月
<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後等デイサービス</li><li>・新規利用者受け入れ</li><li>・館内でお花見</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・端午の節句</li><li>・医師の健診</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・干支作品製作</li><li>・館内じやがいも販売</li><li>・公園外出（黒島）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・七夕祭り</li><li>・清掃ウォーキング</li></ul>
8月	9月	10月	11月
<ul style="list-style-type: none"><li>・スイカ割り</li><li>・医師の健診</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公園外出（白浜公園）</li><li>・消防訓練</li><li>・個別外出</li><li>・レクリエーション</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公園外出</li><li>・館内さつまいも販売</li><li>・個別外出</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・医師の健診</li><li>・紅葉狩りドライブ</li><li>・公園外出（東浜公園）</li></ul>
12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"><li>・清掃ウォーキング</li><li>・クリスマス会</li><li>・イオン作品展</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・初詣</li><li>・書初め</li><li>・ドライブ</li><li>・抱負絵馬作り</li><li>・レクリエーション</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・節分</li><li>・ドライブ</li><li>・レクリエーション</li><li>・医師の健診</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ひな祭り</li><li>・新規利用者歓迎会</li><li>・消防訓練</li><li>・公園外出</li></ul>

※毎月、清掃ウォーキング・体育館での運動・図書館利用・他事業所との交流等も行う。

地域子育て支援事業(ひろば型)  
にこちゃんパーク

# 令和2年度事業報告

## 地域子育て支援拠点事業 にこちゃんパーク

### 1. 経営方針

#### (1) 交流の場と居場所の提供

乳幼児の子育て中の親子が出会いと交流を通して、子ども達が自由に遊んだり、家庭的な雰囲気の中で、安心して楽しく過ごせる場を提供しました。

#### (2) 子育て相談

育児に対する不安感・負担感などを理解し、身近な相談相手として、いつも笑顔で温かく迎え入れ、子育ての不安や悩みが少しでも軽減できるよう、気軽に話せる関係づくりを大切にしました。

#### (3) 情報の共有

市役所の子育て支援課や保健センター（すまいるステーション）、他の子育て支援拠点施設との連絡会を通して、子育てに関する情報の共有に努めました。

### 2. 重点課題と具体的な取り組み

#### (1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

- ・週4日、月・火・木・金曜日（祝日を除く）を基本として開所しました。（但し、水・土曜日も不定期で開所）
- ・子育て中の親子の出会いと仲間づくりの援助を行いました。
- ・安心して遊んだり、安全に過ごせるよう環境を整えました。

#### (2) 子育て等に関する相談、援助の実施

- ・個人情報保護に努めながら、育児相談を継続的に受け入れていくよう配慮しました。
- ・安心して話せる関係づくりを大切にして、利用者の悩みに寄り添い、少しでも軽減出来るように努めました。
- ・必要に応じて、すまいるステーションを紹介したり、子育て支援課と連携を取り情報を提供しました。

#### (3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・毎月の行事予定（にこちゃんだより）を発行し、配布しました。
- ・市内の子育て支援拠点施設や子育て支援センター、児童館や児童センター、子育てサークルなどの予定表を掲示したり、保健センターや子育て支援課からのプリントを配布し、さまざまな地域情報をお知らせしました。
- ・子育てに関する新聞記事や、地域の行事、講演会などの紹介をしました。
- ・子育て応援ブックや、子育て応援パスポートなどを説明し、配布しました。

#### (4) 子育ち・子育て支援に関する講習等の実施

- ・子育て中の親子のニーズを把握して、講習を計画し、実施しました。（プチ出前講座）
- ・ボランティアによる活動を計画し、お話し（回転木馬）や、親子でヨガ、ハーバリウム作り等、定期的に来て頂きました。
- ・身边にある材料を使っての、おもちゃ作りやあそびを紹介し、実施しました。
- ・誕生会で誕生児の手形と写真を撮り、誕生カードを作成して、お渡ししました。

- ・身体測定（身長・体重）を行い、成長の喜びを共有しました。

#### (5) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

子育て中の親子が、安全に過ごせるよう、手指消毒・検温・マスク着用をして頂き、利用者人数の制限を行って、密集・密接を減らしたり、室内の換気・加湿に気を付けながら、遊具・玩具などの消毒・除菌をこまめに実施して感染防止に留意しました。

#### (6) 広報活動

- ・毎月の行事予定（にこちやんだより）を市役所・十全総合病院・川東の公民館4ヶ所にも、置かせて頂きました。
- ・すまいるステーションとの連携により、事業所を紹介しました。
- ・市役所ロビー展（10/19～23）に参加しました。

### 3. 研修報告

#### (1) 施設内研修

- ・職員全体会

職員の資質向上に向けてコミュニティハウス三恵での職員研修に参加しました。

- ・フロア会（随時）

#### (2) 施設外研修

- ・新居浜市地域子育て支援拠点事業（全8施設）の連絡会に参加しました。
- ・すまいるステーション（保健センター）との連絡会（書面開催）に参加しました。

### 4. 行事報告

- ・毎月実施…お話会（回転木馬）・誕生会（誕生カード作成）・作って遊ぼう（工作）  
親子ヨガ・身体測定（成長記録カード作成）
- ・随時実施…館内の高齢者・障がい者との交流（芋販売など）  
利用者の自主サークル活動（ハーバリウム作りなど）

★新型コロナウイルス感染拡大防止の為 利用人数を制限（5～6組）したり、ランチタイム（12時～13時）は中止し、6月から誕生会、作って遊ぼう、身体測定を開始  
9月からは 親子でヨガ、ハーバリウム作りも再開しました。

### 主な行事内容

つくって遊ぼう		誕生会・親子でヨガ・ハーバリウム作り お話会（回転木馬）・身体測定・その他
4月	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、 4/1～7 迂休所、4/8～17 迂開所、新型コロナウイルス感染 拡大防止対策緊急事態宣言の発表を受け 4/18～5/6 迂休所。
5月	中止	施設利用中止期間延長により引き続き、5/10 迂休所。 5/11～開所。（4月・5月の行事は全て中止）

6月	時計	手あそび歌・絵本・リズムあそび・七夕笹飾り制作
7月	七夕笹飾り	七夕・手あそび歌・しゃぼん玉あそび・紙芝居 ペーパープレートシアター・パネルシアター・絵本
8月	コロコロ水槽	絵本・うちわシアター・手あそび歌・紙芝居 エプロンシアター・しゃぼん玉あそび・ ★子育て支援フェスタ in いはま特別番組の事前収録 (親子へのインタビューなど、取材を受ける)
9月	くるくるストロー	手あそび歌・絵本・楽器あそび・ペーパーサート・紙芝居 パネルシアター・電車ごっこ・避難訓練(合同) ★子育て支援フェスタ in いはま特別番組の放送 (9/20)
10月	太鼓台	手あそび歌・絵本・ペーパープレートシアター・紙芝居 パネルシアター・親子ふれあいあそび ★市役所ロビー展(10/19~23)
11月	かざぐるま	エプロンシアター・紙芝居・手あそび歌・楽器あそび 絵本
12月	クリスマスツリー	大型絵本・手あそび歌・絵本・エプロンシアター クリスマス会・リズムあそび ★ブチ出前講座(すまいるステーション)…歯の話
1月	鬼のお面	絵本・手あそび歌・腕人形・紙芝居・パネルシアター わらべ歌あそび
2月	おひなさま	手袋シアター・絵本・エプロンシアター・紙芝居 手あそび歌・ぬりえあそび
3月	トントンずもう マラカス	絵本・パネルシアター・手あそび歌・紙芝居・手袋シアター ・言葉あそび・避難訓練(合同)

ユニット型地域密着型老人福祉施設  
うみかぜ

## 令和2年度 事業報告

### 1. 経営方針

令和2年度は、働きやすい職場環境整備と介護現場の革新を目標に掲げ実践することにより、多職種協働による他部署間の活発な意見交換や、若手リーダー層の意識改革を実践しました。また、施設での看取り介護が増加しており、安らかな最期を迎えるよう施設全体で学び取り組んだ結果、うみかぜ目標実績稼働率 97.5%に対し、97.9%のプラスの実績となりました。

コロナ禍の影響により職員の外部集合研修が中止となりましたが、e ラーニング研修等を利用し研修参加の活性化を図る、ライン電話を利用したテレビ面会を実施するなど、コロナ禍の時代に沿い工夫を凝らした一年となりました。

短期入所事業所では、コロナ感染予防の為に短期利用を控えたり、体調不良の方は利用を遠慮いただくことが多く、短期入所目標稼働率 90%に対し、83.1%のマイナスの結果となりました。

### 2. 重点課題と具体的な取り組み

#### (1) 「誠実な福祉」の実践

- ①三恵会理念・行動指針を朝礼で音読し理解を深めました
- ②ご利用者の人格を尊重し、尊厳ある幸せな時間は何かを追求するために、各委員会やカンファレンスで議論しました
- ③ご利用者に寄り添う介護のために、定期的に介護勉強会を実施しました

#### (2) 「確実な知識と技術」の修得

- ①原点回帰を目的に介護の基本について OJT を実践し、職員の意識向上に努めました
- ②施設内で認知症介護の勉強会を開催しました
- ③リーダー層の育成に力を注ぎ、職員の離職抑止に努めました

#### (3) 「堅実な経営」への取り組み

- ①短期の目標稼働率は達成できなかったが、数値目標は毎月報告しました
- ②ご利用者の行動パターンを理解し見守りを強化するも 1 件の骨折事故が発生しました
- ③毎月の光熱水費使用状況報告を継続し、節電などの節約に繋がりました

### 3. 研修計画

#### (1) 施設内

- ・各種指針に基づいた研修（8回）
- ・認知症ケア（2回）
- ・感染症対策（e ラーニング研修）
- ・緊急時の対応（実地）

#### (2) 施設外

- ・老人福祉施設協議会主催の研修会（e ラーニング研修）
- ・愛媛県主催 喀痰吸引の研修会  
介護支援専門員の各種研修（リモート研修）
- ・社会福祉協議会主催の研修会（コロナ感染対策研修）
- ・ユニットリーダー研修会（リモート研修）
- ・地域密着型サービス協会研修会（不適切虐待防止研修、コロナ感染対策研修）

### 4. 行事予定

4月 花見	10月
5月 ドライブ（ふじ、芍薬見物）	11月 防火訓練
6月 防火防災避難訓練	12月 クリスマス会
7月 七夕	1月 初詣
8月	2月 節分
9月 敬老会、芋焼き	3月 ひな祭り

<毎月の共通行事> ユニット活動（誕生会、おやつ作り、個別外出）、生け花、

### 5. 地域交流、ボランティア

#### (1) 地域交流

- ・運営推進会議（書面会議）・めぐみカフェ（認知症）・職員地域清掃（月1回）

グループホーム  
かがやき

## 令和2年度 事業報告

### 1. 経営方針

令和2年度は、看取り介護の取り組みや、重度化したご利用者の特養入所が続き、新規ご利用者の認知症による BPSD 緩和対応が増えました。ユマニチュードを基に、ご利用者に寄り添い傾聴する姿勢を常に持ち、帰宅願望の強い方とは共に歩き、安定した生活を送れるように努めたことで、ご利用者との信頼関係を築くことができました。

コロナ禍の影響で、行事や外出の縮小やご家族の面会制限により、ご利用者は寂しさの募る一年でしたが、ライン電話でのテレビ面会、敷地内に畠を作る、散歩回数を増やす等でストレスの軽減に繋がりました。

目標実働稼働率は、99%に対し、98.3%の実績でマイナス0.3%の結果となりました。

### 2. 重点課題と具体的な取り組み

#### (1) 「誠実な福祉」の実践

- ①三恵会理念・行動指針を朝礼で音読し理解を深めました
- ②ご利用者的人格を尊重し、尊厳ある幸せな時間は何かを追求するために、各委員会やカンファレンスで議論しました
- ③ご利用者に寄り添う介護のために、定期的に介護勉強会を実施しました

#### (2) 「確実な知識と技術」の修得

- ①原点回帰を目的に介護の基本について OJT を実践し、職員の意識向上に努めました
- ②施設内で認知症介護の勉強会を開催しました
- ③リーダー層の育成に力を注ぎ、職員の離職抑止に努めました

#### (3) 「堅実な経営」への取り組み

- ①短期の目標稼働率は達成できなかったが、数値目標は毎月報告しました
- ②ご利用者の行動パターンを理解し見守りを強化するも 1 件の骨折事故が発生しました
- ③毎月の光熱水費使用状況報告を継続し、節電などの節約に繋がりました

### 3. 研修計画

#### (1) 施設内

- ・各種指針に基づいた研修（8回）
- ・感染症対策（動画を活用）
- ・認知症ケア（2回）
- ・緊急時の対応

#### (2) 施設外

- ・愛媛県主催 介護支援専門員の各種研修
- ・地域密着型サービス協会研修会（不適切虐待防止研修、コロナ感染対策研修）

### 4. 行事予定

4月 花見	10月
5月 ドライブ（ふじ、芍薬見物）	11月 防火訓練
6月 防火防災避難訓練	12月 クリスマス会
7月 七夕	1月 初詣
8月	2月 節分
9月 敬老会、芋炊き	3月 ひな祭り

<毎月の共通行事> ユニット活動（誕生会、おやつ作り、個別外出）、生け花、

### 5. 地域交流、ボランティア

#### (1) 地域交流

- ・運営推進会議（書面会議）・めぐみカフェ（認知症）・職員地域清掃（月1回）

児童福祉施設  
中萩保育園

# 令和2年度 事業報告

## 1、経営方針

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、私たちの生活は一変していました。不安ばかりの状況から約1年、日々、子ども達の安全を守るために職員間で話し合いながら環境整備に努めてきました。また、今までのように行事を行うことが困難なため、見直し、縮小、中止も余儀なくされました。そうした中でも子ども達の成長を第一に考え、子どもの「育とうとする力」を發揮できるよう、愛情豊かに応答的な保育に取り組みました。

コロナ禍での保育園の役割、重要性を改めて考えながら、新しい生活様式の中で子ども達の成長発達を促し、保護者が安心して職場へ向えるよう職員間で協働を図っていきたいと思います。また、「子ども・保護者・職員が共に育ちあう」保育園づくりを目指していきたいと思います。

経営面では、育児休業職員の復帰に伴い途中入所児童を受け入れることができ、安定的な経営に繋がりました。また、新園舎建設に向けては、目標としていた建設用地の購入資金の貯蓄が達成でき、園舎隣接地を購入することができました。今後、本部担当者の下、建設に向けて進めて行きたいと思います。

## 2、重点課題と具体的な取り組み

### (1) 「誠実な福祉」の実践

#### ①子どもの健康・安全な生活を保障する

- ・朝の受け入れ時の視診、検温などの健康観察を行い、元気に生活できるように努めた。
- ・毎日、保育室や廊下の消毒、玩具の消毒を行い、感染症予防に努めた。
- ・手洗い、うがい、室内換気の徹底に努めた。
- ・安全対策委員を設置、避難訓練や不審者侵入を想定した訓練を行い、危機管理意識を持つように努めた。
- ・ヒヤリハットを細かくとらえ記入することができた。今後も生活の場を整備し、子どもの動きを想定することで安全保育に繋げていきたい。

#### ②子どもの健やかな発達を目指した保育

- ・子どもの気持ちに共感することで、子ども達が安心して生活ができるよう環境を整備した。今後も乳幼児期の成長発達を理解し、自己肯定感が育つようにしていきたい。
- ・基本的生活習慣の確立では、個人差を踏まえ、その子に合ったペースで成長できるよう丁寧な保育に心がけた。今後も焦らず一人一人を大切に関わっていきたい。
- ・戸外遊び（かけっこ、雲梯、鉄棒等）を通して体力づくりに取り組んできた。
- ・児童センターやキラキラ公園まで散歩に行き、自然に触れたり、交通ルールを身に付けたりできるよう取り組んでいる。今後も心身ともに健やかに成長できるよう保育し

ていきたい。

#### ③専門機関、教育機関、他施設との連携

- ・年2回、十全総合病院小児科（長谷川Dr）、藤田歯科クリニック（藤田Dr）による検診を受けた。その結果を保護者に伝え、早期治療に繋げている。
- ・住友病院眼科スタッフによる年中児の眼科検査、発達支援課による年長児の発音検査を行い、早期発見、早期治療に繋げている。
- ・発達支援課による巡回相談、就学前相談を受け、サポートファイル等を作成することで支援を必要とする子どもが無理なく集団で生活ができ、クラスの一員として協調できるように保育している。
- ・中萩小学校での幼保小連絡協議会への参加、情報交換を行った。就学に向けての引き継ぎ、支援を必要とする子のサポートファイル作成など小学校との連携を取っている。子ども達が小学校生活に期待を持って就学できるよう今後も交流していきたい。  
＊各機関との連携は今後も大切にしていきたい。
- ・上部児童センター運営協議会に参加、子どもを中心に地域との交流を深め、健全育成に係ることができるよう意見交換を行った。
- ・老人施設むつみの家と連携を取り、災害時の協力体制を取っている。

#### ④危機管理対策

- ・毎月、各災害を想定しながら避難訓練を実施。問題点、反省点を職員間で話し合い、子ども達が安全に避難できるよう取り組んでいる。2年度は施設強化加算の申請を行い、スノコマット、ベビーフィートを購入した。また、保護者が防災マニュアルを閲覧できるよう廊下本棚に配置している。掲示板に避難経路を掲示し、保護者にも知らせている。
- ・セコムに依頼し防犯対策に努めている。  
＊今後も職員間で危機管理について話し合い、確認することで、防災、防犯意識を高めていきたい。

### （2）「確実な知識と技術」の修得

#### ①職員の資質向上

- ・保育協議会主催の研修、日本保育協会主催の研修、三恵会主催の研修などに参加し、資質向上に努めた。また、保育協議会主催のキャリアアップ研修を受け、知識を深めることに繋げた。（リモート研修を受講）
- ・自己評価をすることで自分自身の反省評価を行い、子どもの活動内容や結果だけでなく、子どもの育ちや意欲に繋がる保育を目指してきた。今後も職員間での話し合い、共通理解をすることで保育の質の向上に繋げていきたい。  
＊日々いろいろなことに直面しながらも、職員一人一人は前向きに取り組み、一生懸命頑張っている。

## ②専門性の充実

- ・保育園で働く全ての人が子どもに対しての人的環境である。言葉遣い、身だしなみ、行動等、子どもの成長に与える影響は大きい。職員一人一人が丁寧に子ども達に関わり保育するよう心がけた。
- ・全体計画に基づいて各クラス年指導計画、月指導計画、週（日）指導計画、個人別月指導計画、個人別週（日）指導計画、各行事の指導計画を立て、ねらいを持って保育に取り組んだ。
- ・看護師による健康観察、感染症予防についての情報提供などを行った。また、職員に嘔吐物処理の仕方について講習を行い、職員間での周知を図った。
- ・栄養士を中心に保育士、調理員が話し合いながら食育活動（野菜の菜園、収穫、クッキング、試食会など）を行った。また、アレルギー児の除去食、肥満傾向にある子どもの食について保護者と懇談を行いながら食事の提供を行った。  
＊毎月、園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを配布した。

## （3）「堅実な経営」の実践

- ・職員の育児休業職員の復帰に伴い、0歳児の途中入所3名を受け入れることができ、安定した経営に繋がった。
- ・定期的に保育室、園庭遊具等の安全チェックを行い、危険個所の修繕を随時行った。
- ・日々、忙しく業務に追われている中にも、子どもの成長、保護者からの声かけを通し、保育の仕事に対してのやりがいを感じられるよう、今後も働きやすい環境づくりをしていきたい。
- ・職員間で備品チェックを行いながら無駄をなくすよう取り組んできた。
- ・園舎建て替えに向け「もったいない」意識を持ち、経費削減に取り組んでいきたい。

## 3、研修実績

### （1）施設内

職員会（クラスの状況報告、気になる子について、給食検討、けがの報告等）、  
安全対策委員会、先任者会、主任会

### （2）施設外

キャリアアップ研修（リモート研修）  
保育協議会部会（園長、主任、幼児、乳児、障がい児、給食）  
日本保育部会（園長、主任、給食）、就学前人権同和教育  
三恵会本部主催の研修

#### 4、行事実績（年間）

- 4月 入園式(中止)、年長児発音検査
  - 5月 遠足、園児歯科検診
  - 6月 わくわくお楽しみ会ごっこ、プール開き
  - 7月 七夕集会
  - 8月 プール大会（バイキング給食）
  - 9月 敬老の日ハガキ投函、年中児眼科検診
  - 10月 運動会、お祭り集会、交通安全教室、園児健康診断、園児歯科検診、巡回相談
  - 11月 遠足、園児健康診断、火遊び防止教室
  - 12月 クリスマス会、新入園児申請書受付、在園児家庭現況届提出
  - 1月 もうすぐ1年生撮影
  - 2月 節分、たのしいおあつまり（発表会）、記念撮影
  - 3月 園児健康診断、ひな祭り集会、お別れ遠足、お別れ会、卒園式
- \*毎月実施…誕生会、異年齢児交流、食育活動、避難訓練、身体測定など

#### 5、地域交流、ボランティア、実習生

- (1) 地域交流状況
- (2) 実習生受け入れ
- (3) 体験学習の受け入れ

\* 2年度は新型コロナウイルス感染症流行のため中止となった。

養護老人ホーム  
新居浜市立慈光園

# 令和2年度 事業報告

養護老人ホーム新居浜市立慈光園

## 1. 運営方針

令和2年度は、指定管理者として慈光園を管理する最終年度となりましたが、新型コロナウイルス感染症が拡張する中で、全国の高齢者施設等でクラスターが相次ぎ感染の危機に直面した1年間でした。

感染症対策では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、日常生活の中で誰もが感染リスクを抱える中、職員及び利用者への対応に関してマスク着用を含む手洗い、手指消毒等による衛生管理の徹底、職員の体調管理（健康チェック）、館内における換気を毎日実施し消耗品の備蓄管理を行いました。

利用者のご家族様に対しては、面会の制限をするなど期間を定め利用者に対し自粛措置をとり、感染症予防策として日々変化する感染状況に応じて臨時感染症委員会を13回開催し、市町村と連携をとりながら職員及び利用者の安全配慮の為に指定管理者として対応しました。

このような中で、利用者的心身の低下による支援の増加、精神疾患を持った方や生活困窮者の入所が多くなるなど自立支援困難者の増加に伴い利用者の個人差が大きくなる中、一人ひとりのADLに応じた処遇計画を作成し、介護保険サービスの利用や、園内行事を通じて健康維持を行い、自主性をそこなわず安心して生活が送れるよう支援に努めました。

また、医療機関や介護福祉施設と連携を図り、生きがいを持って日常生活が送れるよう自立支援に必要で利用者個々に応じたデイケアやデイサービスの利用を進め、利用者の生活力を高め社会参加の助長の継続に指定管理者として支援しました。

## 2. 重点課題と具体的な取り組み実績

### （1）「誠実な福祉」の実践

①利用者個々の状態に応じて個別処遇計画に係るP D C Aサイクルに取り組み実践に努めました。

②出前講座の開催や他の団体が主催するイベント等へ出展、創作活動などに推進し、生活意識の向上に努めました。（新型コロナウイルス感染症の為、規模を縮小）

③嗜好調査の実施により季節感や彩に配慮した食事提供に努め、衛生管理と食品管理を適正に行いました。

④園近隣における清掃活動を実施するとともに、金栄小学校の1年生を対象とした下校時の見守りボランティア活動を実施しました。

## (2) 「確実な知識と技術」の修得

- ①地域包括ケアシステムの構築に向けた諸施策の整備や編成が進む中で関係機関等との連携及び情報の共有をはかり、処遇困難な利用者への対応に努めました。
- ②愛媛県社会福祉協議会 e ラーニングによる新型コロナウイルス感染症防止策に対応したテーマ別の研修に関してはオンラインを通じて習得しました。

## (3) 「堅実な経営」の取組み

- ①毎月の予算執行管理を確実にするとともに、財務諸表の点検、月々の変動、経年変化、前年同月比較を実施し経営管理を行いました。
- ②物品の適正な在庫管理に努め、購入にあたっては見積りを取るなどの経費削減に努めました。
- ③デマンド量の監視により電気使用状況を把握し職員、利用者に節電を呼び掛け、電気料金の減少に努めました。
- ④ストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルスケアを行いました。
- ⑤社会福祉施設における新型コロナウイルス感染拡大防止策を市町村と連携し安全配慮を行いました。

## 3. 研修実績

### (1) 施設内研修

- ①職員全体会（月1回）　　主任会（月1回）
- ②出前講座  
私たちが出来る医療費の節約、予防接種について、お口から始まる健康づくり
- ③愛媛県社会福祉協議会 e ラーニング（テーマ別研修）

### (2) 施設外研修

- ①老人福祉施設協議会（新居浜市）の研修会
- ②三恵会法人本部主催の研修会

## 4. 行事実績

年間を通じて、新型コロナウイルス感染症対策の為、当初の計画に対し外出行事は大半が中止。園内におけるクラブ活動等においては規模を縮小しての実施となりました。

## 5. 地域交流、ボランティア

### (1) 地域交流

- ひめぎんロビー展 展示（利用者の作品）
- 地域清掃・金糸見守り隊

### (2) ボランティア受入

- 一宮グループ（剪定作業）・ネットトヨタ瀬戸内（公用車室内抗菌）